

建設ディレクター[®]3つの役割

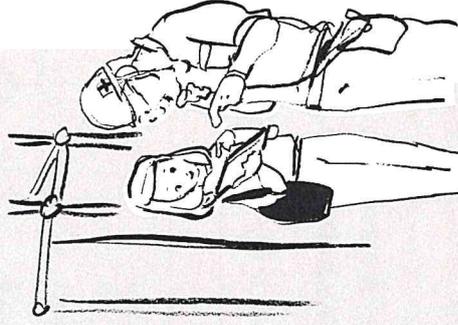
1



生産性向上

ITスキルで
工事書類を作成し、
現場の負担を軽減します

2



女性が活躍する 職場を実現

ICT専門分野のスキルを
習得し、技術力の底上げと
内製化を目指します

3



現場とオフィス 経営を結ぶ

継続的な業務改善で
社内の仕組みを
整えます

ITとコミュニケーションで
オフィスから現場を支える
新しい職域

建設ディレクター[®]

建設ディレクター希望者

のご紹介



—お申込みの流れ—



「建設ディレクター育成講座」は企業に所属、就職(内定)されている方を受講対象としています。
(厚労省 人材開発支援助成金、キャリアアップ助成金活用可能)



一般社団法人建設ディレクター協会

〒602-8019 京都市上京区室町通下長者町下る近衛町33

tel : 075-431-0011

mai : info@kensetsudirector.com

website : <https://kensetsudirector.com>

建設ディレクター®とは？

ITスキルとコミュニケーションスキルによって、オフィスから現場支援を行う新しい職域です。オフィスと現場が互いに協力しあう仕組みを導入することで、技術者は品質管理や若手の育成といったコア業務に集中する環境が整います。また、従来の役割を超えて、女性を含めた多様な人材が建設業で働くことで、労働力不足の解消のみならず、職場の活性化や好循環を生み出します。

30年以上にわたるIT支援や教育の実績を有する当協会が経営者・技術者・バックオフィスで働く方々、1万人以上の声を集めて誕生した建設ディレクターの活躍は全国に広がっています。

建設ディレクターを現場とオフィス、経営をつなぐ存在と位置づけ、業務効率化とコミュニケーションのIT化を進め、建設業界全体の働き方を変えてまいります。

期待効果

技術者の業務を可視化・効率化することで、現場の負担を軽減します

長時間労働の軽減



人材の育成・定着

従来の役割分担・職域の枠を超えて、女性を含めた多様な人材が働く機会、新規雇用につなげます

働きやすい職場の実現
全員が参加する職場改革を取り入れることで、やりがいのある豊かな職場を目指します

建設ディレクター制度について

育成

活躍

定着

建設ディレクター制度は「育成」「活躍」「定着」の3つのフェーズで構成されています。

「育成」〈建設ディレクター育成講座〉をお申込みされますと「活躍」〈コミュニケーションセンター〉へ入会が可能になり、講座で学びながらコミュニケーションセンター開催の交流会や勉強会に参加でき、オフィスでの活躍の場が広がります。

また、建設ディレクター育成をきっかけに現場とオフィスの協力体制を整えたい企業さまを対象に「定着」〈支援プログラム〉をご用意しております。

育成—建設ディレクター育成講座の受講

ヒアリング

講座受講

・オンデマンド
・オンライン
(グループワーク含)

全9回(44h)

修了テスト

資格認定

「建設ディレクター育成講座」は、経験豊富な専門家が講座を担当しています。実践に不可欠な基礎知識の理解やノウハウ、現場とのコミュニケーションの幅を広げる知識の習得が可能です。

カリキュラムを修了し、(一社)建設ディレクター協会が実施するテストに合格した受講者には「建設ディレクター認定証」が発行されます。

【講座】①建設業マネジメントⅠ②建設概論③施工管理④工事書類⑤積算⑥電子納品⑦建設IT活用⑧建設業マネジメントⅡ

※育成講座について変更が生じる場合がございます。詳しくは公式サイトでご確認ください。

受講料：33万円(税込)

活躍—コミュニケーションセンター

建設ディレクターが直面する疑問や悩みをサポートし、受講後も継続して、最新情報や交流の場をご提供いたします。



定期的な情報発信に加え、建設ディレクターを導入した企業事例や効果を知ることができる情報共有の場を設けております。互いの成長のために、建設業界で広がるネットワークを是非お役立て下さい。(勉強会・交流会/年6回実施)



フォローアップ



経営者交流会



イベントご参加



情報提供サービス



活躍企業認定マーク掲載

会費：受講後12か月無料(更新)

定着—定着プログラム

建設ディレクター制度導入後、現場とオフィスの協力体制を整えたい企業様を対象にスタートアップ(6ヶ月)の支援プログラムをご用意しております。



訪問とオンラインを交え、導入企業様の建設ディレクター制度の定着に伴走します。



ヒアリング

勉強会

情報収集

情報整理

業務決定

定着

価格：応相談